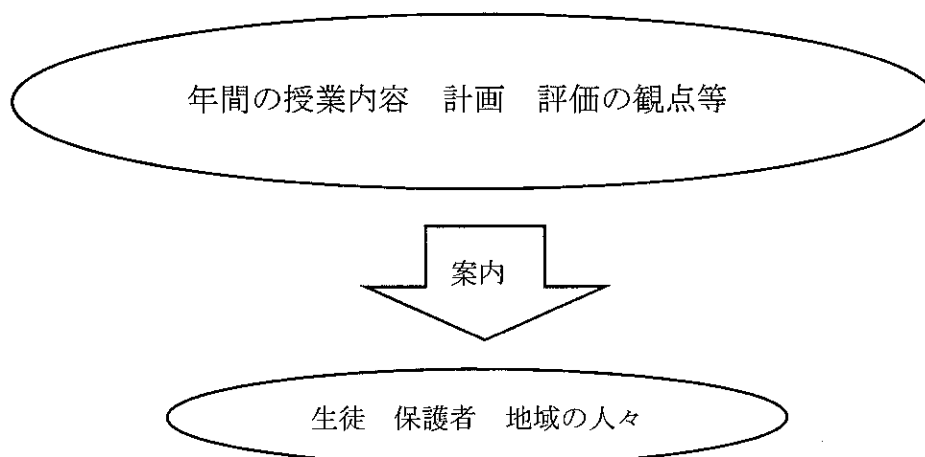


## 「学習案内」とは何か？



**学習案内**とは、学校で行われる授業などの年間の学習内容であり、教科の目標、内容、使用教材、学習計画、学習上のアドバイス、評価方法などをまとめたものです。これから、何を何のために、いつ、どのように学ぶかを知らせるものです。

学校として年間指導計画を保護者や生徒に示すことで、生徒の皆さんがこの1年間でどんなことを学習するのかがわかり、学習計画を立てる上で役に立ち、より意欲的に学習に取り組むための手助けとなります。また、各単元（章）ごとのねらいが前もってわかることで、生徒が何を頑張ればよいか、具体的に目当てをもつことができます。保護者にとってもお子様との対話のきっかけになります。学習を進める上で十分にご活用ください。

# 国語科 第3学年

## 1 目標

- 1 目標 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。

## 2 学習計画と内容

A【話す・聞く】 B【書く】 C【読む】

学期	学習内容 (単元名・教材名・学習教材など)	学習を進める上でのアドバイス
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春に・立ってくる春</li> <li>・なぜ物語が必要なのか</li> <li>・一言でまとめ一言から広げる・私</li> <li>・薔薇のボタン</li> <li>・構成を考えて主張をまとめる</li> <li>・メディア・リテラシーはなぜ必要か？</li> <li>・新聞が伝える情報を考える</li> <li>・呉音・漢音・唐音・助詞の働き</li> <li>・硬筆【知識・技能】</li> <li>・AIは哲学できるか</li> <li>・具体例をもとに説明文を書く</li> <li>・熟字訓【知識・技能】</li> <li>・和語・漢語・外来語【知識・技能】</li> </ul>	<p>思考・判断・表現</p> <p>A・自分の立場や考えを明確にし、話の構成を工夫しよう。</p> <p>B・話を聞き、内容や話し方の良い点を学び、自分のものの見方や考え方を深めよう。</p> <p>C・詩に描かれた「気持ち」と比較して自分の気持ちを見つめたり、正確に説明文を読み取り構成を捉えたりしよう。</p> <p>・表現上の工夫とその効果に注意して読もう。</p> <p>知識・技能</p> <p>・漢字の流れを知り、言葉のきまりを復習して理解しよう。</p> <p>・行書と仮名を調和よく書こう。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・async 同期しないこと・問いかける言葉</li> <li>・説得力のある批評文を書く</li> <li>・助動詞の働き・敬語【知識・技能】</li> <li>・ニュースで情報を編集する</li> <li>・実用文を読む</li> <li>・旅への思い(奥の細道)</li> <li>・和歌の調べ・風景と心情(漢詩)</li> <li>・最後の一句</li> <li>・異字同訓・慣用句・ことわざ【知識・技能】</li> <li>・近代の俳句</li> <li>・初恋・故郷</li> <li>・書写書き初め【知識・技能】</li> <li>・自己PR文を読み合う</li> </ul>	<p>思考・判断・表現</p> <p>A・新聞の記事を読みとり、それに対する意見をわかりやすく発表しよう。</p> <p>B・俳句の作品から感じたことを表現しよう。</p> <p>・図表を読み取り、条件をふまえ文章を書こう。</p> <p>C・古典のリズムを味わいながら、面白いところや言葉に込められた作者の気持ちを考えよう</p> <p>知識・技能</p> <p>・慣用句・ことわざ・敬語文法を理解しよう。</p> <p>行書の筆使いや形に注意して書こう。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な未来を創るために</li> <li>・表現の工夫を評価してスピーチする</li> <li>・「対話力」とは何か</li> <li>・意見を共有しながら話し合う</li> <li>・情報をまとめて作品集を作る</li> <li>・四字熟語【知識・技能】</li> <li>・バースデー・ガール</li> <li>・青春の歌・やわらかな思い</li> </ul>	<p>思考・判断・表現</p> <p>A・文章を読み合い、よりよい表現の効果を考えよう。</p> <p>C・「言葉」への自分のかかわり方を考えよう。</p> <p>・作品を読み比べたり比較したりして考えよう。</p> <p>知識・技能 四字熟語を理解しよう。</p>

## 3 観点別の評価方法(各観点の評価方法)

☆校内実力テストも参考資料とします。

観 点	評価の資料
知識・技能	・漢字・語句・文法・古典に関する知識・書写の実技作品、テスト等
思考・判断・表現	Aスピーチや発表・発言の内容・聞き取り・テスト等 B・感想文・意見文・テスト等 C・授業中のノート等の表現・内容等・テスト等
主体的に学習に取り組む態度	・授業への取り組み・発言・課題設定への意欲・ノート等内容・提出物の状況等

## 社会科 第3学年 学習案内

### 1 目標

- (1) 近・現代の社会的事象に対する関心を深め、理解し、それを意欲的に追究し広い視野を持とう。
- (2) 近・現代の社会的事象から課題を見だし、社会的事象の意義や役割を考察しよう。
- (3) 統計や新聞、映像など現代の社会的事象に関する様々な資料を活用する力を育てよう。
- (4) 自分の学習状況を振り返ったり、評価したりすることで、主体的に学習に取り組む態度を身に付けよう。

### 2 学習計画と内容

学期	単元名・教材名	学習内容	学習を進めるうえでのアドバイス
1 学期	歴史 第5章 近代日本の歩み	欧米の進出と日本の開国 明治維新 日清・日露戦争と近代産業	明治政府の方針や諸改革、外交政策について理解しよう 自由民権運動や政党政治、憲法制定の過程から民主主義の芽生えについて理解を深めよう。急速に近代化が進んだ日本と大陸との関係について考えよう。
	第6章 二度の世界大戦と日本	第一次世界大戦とアジア・日本 世界恐慌と日本の中国侵略 第二次世界大戦とアジア	急速に近代化を進めた日本と大陸との関係を考えよう。 第一次世界大戦当時の日本の政治、社会を世界の動きと関連させながら理解しよう。 第二次世界大戦の原因や概要について理解しよう。
2 学期	第7章 現代の日本と世界	日本の民主化と国際社会への復帰 国際社会と日本	第二次世界大戦後の日本の民主化と再建、国際社会への復帰について、世界の動きと関連させて理解しよう。
	公民 第1章 現代社会とわたしたちの生活	現代社会を探ってみよう 大量消費社会の出現 食生活の変化 多文化社会の進展	高度経済成長以降のさまざまな社会的事象を通して、自分たちが生きている現代社会の特色に気づこう。 年表や写真資料などから現代社会の発展の過程と国際化の進展のあらましについて考えよう。
	第2章 人間の尊重と 日本国憲法	個人と社会生活 人権と日本国憲法 人権と共生社会	ルールや規則をつくるには、さまざまな考えを持つ人が十分に話し合い、互いに納得して合意できる内容にしていく努力が必要であることを理解しよう。
	第3章 現代の民主政治と 社会	現代の民主政治 国の政治のしくみ 地方の政治と自治	国会を中心とする我が国の民主政治の考え方や仕組み、地方自治の基本的な考え方や仕組みを理解しよう。身近な生活の話題や問題点が政治と深く結びついていることを理解しよう。
	第4章 わたしたちの 暮らしと経済	わたしたちの生活と経済 市場経済と金融 国民生活と福祉	宣伝や広告と日常の消費行動との関係、消費者自身の責任などについて考えよう。豊かな社会とは何かを考えてみよう。
3 学期	第5章 地球社会とわたしたち	国際問題と地球市民 国際社会と世界平和	世界平和の実現と人類の福祉の増大について考えてみよう。地球環境問題に関心を持とう。
	第6章 より良い社会を目指して	それぞれテーマを設定し、レポートの作成	現代と将来それぞれの世代の幸福を両立させることのできる、「持続可能な社会」を形成するために、現代社会の抱える課題と、私たちができることを考えよう。

### 3 観点別の評価方法

	観 点	評 価 の 資 料
①	知識・技能	確認テストや定期テストなど。基本的な内容の理解。資料の読み取りや作成。
②	思考・判断・表現	定期テスト、授業の発言内容、ノート・プリントの記述内容など。課題に対するまとめなど。
③	主体的に学習に取り組む態度	ノートやプリント等の記述内容、授業中の発言内容、自己評価やふりかえりの内容など。

### 4 長期休業中の課題

夏休み	人権作文(全国)
-----	----------

# 数学科 第3学年

## 1 目標

- (1) 数の平方根について理解し、数の概念についての理解を一層深める。また、目的に応じて計算したり式を変形したりする能力を一層伸ばすとともに、二次方程式について理解し、式を能率的に活用できるようにする。
- (2) 具体的な事象を調べることを通して、関数  $y = ax^2$  について理解するとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を伸ばす。
- (3) 図形の相似や円周角の定理、三平方の定理について、観察、操作や実験を通して理解し、図形の性質の考察や計量に用いる能力を伸ばすとともに、図形について見通しをもって論理的に考察し表現する能力を伸ばす。

## 2 学習計画と内容

学期	学習内容 (単元名・節など)	学習を進める上でのアドバイス
1	1 式の展開と因数分解 ・ 式の展開と因数分解 ・ 式の計算の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多項式の乗法、除法の計算ができるようにしよう。また式の展開と因数分解の意味を理解し計算できるようにしよう。身近な題材を式の展開や因数分解を用いて解決できるようにしよう。</li> <li>・ 素数でない自然数をその約数の積で表すことができるようにしよう。平方根の意味を理解し、四則計算ができるようにしよう。また、根号をふくむ式を必要な形に変形できるようにしよう。</li> </ul>
	2 平方根 ・ 平方根 ・ 根号をふくむ式の計算 ・ 平方根の利用	
2	3 二次方程式 ・ 二次方程式 ・ 二次方程式の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 方程式が二次式になる場合があることに理解しよう。因数分解や平方根の考えを利用して二次方程式を解くことができるようにしよう。二次方程式を用いて具体的な問題が解決できるようにしよう。</li> <li>・ 具体的な事象の中から2乗に比例する関数に着目して、その変化の様子をとらえよう。また関数 <math>y = ax^2</math> の関係を表、式、グラフなどで表現したり、変化の割合に着目するなどして、その特徴を読みとったりすることができるようにしよう。</li> <li>・ 拡大図や縮図が身のまわりで利用されている例を見だし、そのよさを見つけよう。また相似な図形をかくことができるようにしよう。</li> <li>・ 2つの三角形が相似であるかどうかを三角形の相似条件を用いて考察できるようにしよう。相似な図形の対応する角の大きさや対応する線分の長さを求めることができるようにしよう。</li> <li>・ 観察、操作、実験などの活動を通して、円周角と中心角の関係を見出そう。また、これらの関係を論理的に確かめ円周角の定理としてまとめよう。作図などで円の性質を活用できるようにしよう。</li> </ul>
	4 関数 $y = ax^2$ ・ 関数とグラフ ・ 関数 $y = ax^2$ の値の変化 ・ いろいろな事象と関数	
	5 図形と相似 ・ 図形と相似 ・ 平行線と線分の比 ・ 相似な図形の計量 ・ 相似の利用	
3	6 円の性質 ・ 円周角と中心角 ・ 円の性質の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 直角三角形の3つの辺をそれぞれ1辺とする正方形の面積の関係に興味をもって調べよう。三平方の定理の意味を理解し、三平方の定理の証明ができるようにしよう。平面上の線分の長さを求めるのに、三平方の定理を活用しよう。</li> <li>・ 身の回りのいろいろな調査を積極的に調べ、それについて、全数調査、標本調査のいずれであるか理解しよう。標本調査では無作為に抽出しなければならないことや、標本調査が行われる場合について、そのわけを具体的に説明できるようにしよう。</li> </ul>
	7 三平方の定理 ・ 直角三角形の3辺の関係 ・ 三平方の定理の利用	
	8 標本調査とデータの活用 ・ 標本調査	
	9 内容のたしかめ ・ 復習問題 ・ 補充問題	

## 3 観点別の評価方法 (各観点の評価資料)

※ 校内実力テストも参考資料とします。

	観点	評価の資料
①	知識・技能	○授業中の取り組み (発表・問題演習の様子) など ○定期テスト
②	思考・判断・表現	○授業中の取り組み (発表・問題演習の様子) など ○定期テスト
③	主体的に学習に取り組む態度	○授業に取り組む態度、授業に対する意欲 (発表・反応) など ○提出物 (ノート・問題集・自己評価シート・その他課題) など ○定期テスト

# 理科 第3学年

## 1 目標

- (1) 生徒1人ひとりが目的意識をもった観察、実験を行うことにより、科学的に調べる能力を育て、科学的な見方や考え方を養う。
- (2) 日常生活との関連を図った学習を行う。自然環境と人間との関わりを重視した実験や観察を積極的に取り入れていく。

## 2 学習計画と内容

学期	学習内容	学習を進めるうえでのアドバイス
1	<p>生命の連続性・・・23時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生物のふえ方と成長</li> <li>・遺伝の規則性と遺伝子</li> <li>・生物の種類と多様性と進化</li> </ul> <p>化学変化とイオン・・・29時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水溶液とイオン</li> <li>・化学変化と電池</li> <li>・酸、アルカリと塩</li> </ul>	<p>●知識、技能・・・生物の成長と殖え方、遺伝の規則性と遺伝子、生物の種類と多様性を理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>●思考力、判断力、表現力・・・観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の成長や遺伝現象などの特徴や規則性を見出すことができる。</p> <p>●主体的に学習に取り組む態度・・・生命の連続性に関する事物現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p> <p>●知識、技能・・・化学変化をイオンのモデルと関連付けながら、水溶液とイオン、化学変化と電池を理解しているとともに、それらの観察実験などに関する技能を身に付けている。</p> <p>●思考力、判断力、表現力・・・化学変化について、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連付けてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。</p> <p>●主体的に学習に取り組む態度・・・化学変化とイオンに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>
2	<p>地球と宇宙・・・22時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宇宙から宇宙へ</li> <li>・太陽と恒星の動き</li> <li>・月と金星の動きと見え方</li> <li>・プラネタリウム学習</li> </ul> <p>運動とエネルギー・・・29時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・力の合成と分解</li> <li>・物体の運動</li> <li>・仕事とエネルギー</li> </ul>	<p>●知識、技能・・・身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、天体の動きと地球の自転・公転、太陽系と恒星を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。</p> <p>●思考力、判断力、表現力・・・地球と宇宙について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、天体の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。</p> <p>●主体的に学習に取り組む態度・・・地球と宇宙に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p> <p>●知識、技能・・・物体の運動とエネルギーを日常生活や社会と関連付けながら、力のつり合いと合成・分解、運動の規則性、力学的エネルギーを理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。</p> <p>●思考力、判断力、表現力・・・運動とエネルギーについて、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、力のつり合い、合成や分解、物体の運動、力学的エネルギーの規則性や関係性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。</p> <p>●主体的に学習に取り組む態度・・・運動とエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>
3	<p>科学技術と人間 37時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様なエネルギーとその移り変わり</li> <li>・エネルギー資源とその利用</li> <li>・自然界のつり合い</li> <li>・さまざまな物質の利用と人間</li> <li>・科学技術の発展</li> <li>・人間と環境</li> <li>・持続可能な社会を目指して</li> </ul>	<p>●知識、技能・・・日常生活や社会と関連付けながら、エネルギーと物質、生物と環境、自然環境の保全と科学技術の利用を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。</p> <p>●思考力、判断力、表現力・・・日常生活や社会で使われているエネルギーや物質について、身近な自然現象や災害などへ見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈するとともに、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について、科学的に考察して判断している。</p> <p>●主体的に学習に取り組む態度・・・科学技術と人間に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>

## 3 観点別の評価方法（各観点の評価資料）

	観 点	評 価 の 資 料
①	知識・技能	定期テスト、小テスト、実験・観察レポート、授業中の様子等
②	思考・判断・表現	定期テスト、実験・観察レポート、授業中の様子等
③	主体的に学習に取り組む態度	提出物(授業プリント、実験・観察レポート、ワーク、宿題等)、授業に臨む姿勢、定期テスト、授業中の様子等

# 音楽科 第3学年

## 1 目標

- (1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を楽しく豊かなものにする態度を育てる。
- (2) 音楽表現の豊かさや美しさを感じ、表現の技能をのばし、創造的に表現する能力を高める。
- (3) 音楽に対する総合的な理解を深め、幅広く鑑賞する能力を高める。

## 2 学習計画と内容

	学習内容（単元・節など）	学習を進める上でのアドバイス
1 学 期	○花（歌唱）	○正しい姿勢や音程で明るく響きのある声で歌おう。
	○アイダ（鑑賞・器楽）	○オペラに興味をもち、音楽表現の素晴らしさを味わおう。 ○アルトリコーダーの運指を理解して練習しよう。
	○混声四部合唱（歌唱）	○パート練習に協力して取り組もう。 ・正しい音程、リズムで練習しハーモニーを表現しよう。
	○能（鑑賞）	○日本の伝統音楽を知り、謡い方の特徴をとらえよう。
2 学 期	○合唱コンクール自由曲（歌唱）	○深みのあるハーモニーや旋律の美しさを表現しよう。 ・仲間と共に美しく感動的な合唱を作り上げよう。
	○ボレロ（鑑賞）	○オーケストラの豊かな響きに親しもう。
	○クラシックギター（器楽）	○ギターの音色をよく聴き、演奏しよう。
	○帰れソレントへ（歌唱）	○イタリア歌曲に親しもう。
3 学 期	○卒業記念合唱（歌唱）	○卒業式の主役としての自覚を深め、感謝の気持ちを歌で表現しよう。 ・歌詞の内容を味わい、音楽的な表現を工夫しよう。 ・混声三部の合唱曲を美しく豊かな響きで歌おう。
	校歌・旅立ちの日に（歌唱）	

## 3 観点別評価について

	観点	評価の資料
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パート練習、グループ練習や全体練習に対する積極性</li> <li>・実技テストの技能点数</li> <li>・定期テスト</li> </ul>
②	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美しく豊かな音色を目指し、表現を工夫しているか（プリントの記入内容）</li> <li>・様々な音楽の特徴を意識して聴きとり、具体的な感想を述べることができるか（プリントの記入内容）</li> <li>・実技テストの表現力の点数</li> <li>・定期テスト</li> </ul>
③	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業準備（チャイム着席・忘れ物の有無）</li> <li>・意欲を持って学ぶ姿勢（聴く態度・挙手・発言・パート練習）</li> <li>・パートリーダーとしての積極性（練習時の取り組み）</li> </ul>

# 美術 第3学年

## 1 目標

- (1)主体的に美術に取り組み、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。
- (2)対象を深く見つめる力、感性や創造力を一層高め、独創的・総合的なみかたや考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し創造的に表現する能力を伸ばす。
- (3)自然、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を広げ、心豊かに生きることと美術との関わりに関心を持ちよさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。

## 2 学習計画と内容

学期	学 習	学習を進める上でのアドバイス
1	○「身近な和」 … 1 2時間 ・粘土造形	<p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・身近で使うものに関心を持ち、生活を豊かにする造形を楽しもうとする。</p> <p><b>【思考力・判断力・表現力】</b> ・デザインの発想を広げ、自分なりの図案や造形の楽しさを工夫できる。</p> <p><b>【知識及び技能】</b> ・図案に合った制作の方法を考え、その特性に合った形や加工法を工夫できる。</p>
2	○「私との対話」 … 1 7時間 ・自画像（構想画）	<p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・自分の姿や心の中を見つめた表現に関心を持ち、主体的に創造的な工夫をして表したり、表現の工夫などを感じ取ったりしようとしている。</p> <p><b>【思考力・判断力・表現力】</b> ・自分の姿や心の中を見つめて考えたことを基に主題を生み出し、単純化や強調、構成の仕方などを考え、創造的な構成を工夫し、表現の構想を練っている。</p> <p><b>【知識及び技能】</b> ・絵の具や粘土などの材料や用具の特性を生かし、表現意図に合う新たな表現方法を工夫するなどして創造的に表現している。</p>
3	○「連続模様制作及び応用」 … 6時間 ・消しゴム判子 ・ブックカバー	<p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・技法や彩色に関心を持ち、楽しい文字や面白い文字を制作しようと意欲的に取り組んでいる。</p> <p><b>【思考力・判断力・表現力】</b> ・幅広く発想し、伝えたい内容が伝わるよう十分に構想を練ることができる。</p> <p><b>【知識及び技能】</b> ・材料や用具を選択し、自由に描いたり、装飾したり、工夫している。</p>

## 3 観点別の評価方法（各観点の評価資料）

	観 点	評 価 の 資 料
①	<b>【主体的に学習に取り組む態度】</b>	・課題プリント ・授業中の態度、発言 ・適切な資料の準備
②	<b>【思考・判断・表現】</b>	・作品における唯一点の発想、及びそのための創意工夫（課題やテーマを踏まえた上での用具の使い方や形・色の見方、使い方など）
③	<b>【知識・技能】</b>	・制作における用具の適切な使用の仕方や力加減など。

## 保健体育（中学3年）

### 1 学習のねらい

体育実技と保健に関する学習を通し、課題解決能力と生涯にわたって、体力の保持増進と健康を維持する態度を身に付けます。また、実技教科なので、体を動かしての活動が基本です。

【目標】体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指す。

《3年》

- ◇運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身につけるようにする。
- ◇運動についての自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- ◇運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を育てる。

### 2 学年の主担当の先生

1学年 高橋 和

2学年 杉浦 智香

3学年 島田 雄太 阿部 和恵

### 3 授業形態

3A・・・1・2・3組 →3クラス合同

3B・・・4・5組 →2クラス合同

より生徒一人ひとりに行き届いた授業を展開するため、3クラスは4人の先生で、2クラスは3～4人の先生で授業を行います。

### 4 服装

<4月～10月>

半そで、ハーフパンツ、(大きく分かりやすく記名、シャツはしっかりとパンツに入れる)

ハチマキ、(失くさないよう記名を忘れずに)

(1組:赤 2組:黄 3組:ピンク 4組:緑 5組:オレンジ)

足首がしっかりかくれる白い靴下(くるぶしソックス NG)

※靴はハイカット不可、運動に適した靴を使用すること

※女子で髪が肩にかかる者はゴムで結ぶ。

※手首や足首には余計なものをつけない。(ヘアゴム、ミサンガ、その他アクセサリ等)

※爪は指の腹側から見て見えない長さに切っておく。

※保健の授業は指定された場所で行う。





## 9 学習の進め方

[1時間の授業では]

体育委員がリーダーとなり、用具の準備・片付け、体操・補強運動・ニトロビ(自校体操)・集団走などを進めていきます。その後、本日のねらいの確認、内容に入っていきます。

[单元ごとでは]

- ① オリエンテーションにより、種目の選択や学習内容を確認する。
- ② グループやルールを確認し、練習やゲームの方法を学ぶ。
- ③ 実践を通し、個人や集団の課題を発見し、課題解決を図る。
- ④ 学習したことを自己評価し、課題解決の手立てを生涯スポーツや健康の維持に生かす。

## 10 評価の観点

### (1)知識及び技能

〈運動の特性に応じた基本的な動きや技能〉

(例)・技能テスト(発表会など)・競技の記録・練習やゲームでの動き

〈生涯にわたって運動に親しむための理論及び健康・安全についての基礎的な知識〉

(例)・定期テスト・練習やゲームの進め方・ルールの理解・レポート

### (2)思考力・判断力・表現力等

〈運動の仕方や取り組み方、組合せ方を工夫するとともに、健康・安全について考え、判断し、表現する力〉

(例)・学習カードの内容・課題に沿った練習やゲーム、グループ活動の動き(アドバイス)・安全への配慮

### (3)学びに向かう力、人間性等

〈運動に積極的に取り組み、健康・安全を確保して意欲的に学習しようとする態度〉

(例)・取組の様子(挨拶・返事・準備運動・話を聞く姿勢)・出欠席・忘れ物・時間・服装・提出物

单元ごとに10段階で評価し、学期ごとにそれらを総合して評価を出します。

## 11 その他

- ・ハチマキをなくした場合、120円で購入します。体育科の先生まで来てください。
- ・記名は氏名のみ(名字、ただし同姓がいる場合は名前の頭文字まで)記入する。
- ・学習カードは担当の先生から提出の指示があった場合、提出すること(期限厳守)。学習カードを紛失した場合は速やかに申し出ること。
- ・補強運動(腕立て、腹筋、背筋、スクワット)3年生は各20回です。

12 年間の学習内容 ※感染症の関係や、天候などで学習内容が前後する場合があります。

体育分野	学習内容		行事
1学期			
4月	体づくり運動 新体カテスト		身体測定
5月	球技Ⅰ	ハンドボール	中学校総合体育大会、 体育祭
6月	集団行動	体育祭練習	
7月	水泳	クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライ	
2学期			
8・9月	陸上 器械運動	走り幅跳び、ハードル走、長距離走 マット運動・跳び箱運動	新人体育大会 市内駅伝
10月	球技Ⅱ	バドミントン、ソフトテニス、卓球	
11・12月	武道 ダンス	剣道 現代的なリズムのダンス	
3学期			
1・2・3月	球技Ⅲ	バスケットボール、サッカー	球技大会

保健分野	学習内容		備考
1・2・3学期	保健	(1年) 健康な生活と疾病の予防 心身の機能の発達と心の健康 (2年) 健康な生活と疾病の予防 障害の防止 (3年) 健康な生活と疾病の予防 健康と環境	各学期、天候や感染症 などで学習内容が前 後する場合があります。 す。
	体育理論	(1年) 運動やスポーツの多様性 (2年) 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安 全な行い方 (3年) 文化としてのスポーツの意義	

## 第3学年 技術・家庭科（技術分野）

### 1 技術分野の目標

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目標としています。

### 2 学習計画と内容

	学 習 内 容	ア ド バ イ ス
1 学 期	<b>【情報に関する技術】</b> ・情報通信ネットワークの危険性や情報セキュリティについての理解を深め、情報の技術の在り方について学びましょう。	・情報通信ネットワーク利用時の危険性についてしっかり理解し、安全かつ適切に利用できる能力を身につけましょう。
2 学 期	・ネットワークの構成と情報を利用するための基本的な仕組みを理解し適切なプログラムの制作等ができるように学習します。	・プログラム言語の仕組みと使い方を覚え、簡単なプログラムの設計や制作ができるようになりましょう。
3 学 期	・計測、制御システムの仕組みを理解し、適切なプログラムの制作、動作確認、デバック等ができるように学習します。	・コンピュータを用いた計測、制御の基本的な仕組みを知り、課題を解決できる能力を身につけましょう。

### 3 評価の観点・資料・評価

【評価の観点】 次の3つの観点についてABCで評価します。

○知識・技能      ○思考・判断・表現      ○主体的に学習に取り組む態度

【評価の資料】

・学習ノートの提出とその内容    ・定期テスト    ・実習の取り組み方    ・作品    ・提出物 等

【評 定】

観点別評価を総合して、学期ごとに5段階で評価します。また、1年間を通して3学期に5段階学年評価を行います。

技術・家庭科（家庭分野）第3学年

1. 目標

- ・自分の成長を振り返り、自分の成長は、家族やそれにかかわる身近な人々に支えられてきたことに気付く。
- ・幼児期に必要な生活習慣を身につけることの必要性を理解する。
- ・幼児とふれあうことを想定して、幼児についての理解を深める。

2. 学習計画と内容

学期	学習内容	学習を進めるうえでのアドバイス
1	<b>【子どもの成長】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児の心身の発達の特徴を理解する。</li> <li>・幼児期に基本的な生活習慣を身につけることの必要性を理解する</li> <li>・幼児のおもちゃづくり。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児と中学生の心身の発達の違いを説明できるようにしよう。</li> <li>・幼児の生活習慣は家族や周りの人の役割が必要であることを理解しよう。</li> <li>・安全面等を考慮して手作りおもちゃをつくろう。</li> </ul>
2	<b>【幼児と接する】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児にとっての「遊びの意味」を考える。</li> <li>・絵本の読み聞かせ</li> <li>・幼児と触れ合うにあたって、安全面、関わり方、などを理解する。</li> <li>・安全に留意して関わられるように工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に幼児のおもちゃを使って遊び、幼児にとっての「遊びの意義」について考えよう。</li> <li>・幼児にとって絵本やの絵本の読み聞かせの意義を考えながら、上手に読み聞かせができるようにしよう。</li> <li>・幼児と接する際に気をつけなければならないことをまとめておこう。</li> </ul>
3	<b>【幼児の行動】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・離乳食について</li> <li>・幼児のおやつ作り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が親になったとき、育児や接し方に困らないよう考えよう。</li> <li>・幼児のおやつはどのようなものが適しているか知り協力して調理しよう。</li> </ul>

3. 観点別の評価方法（各観点の評価資料）

	観点	評価の資料
①	知識 技能	幼児の心身の発達について理解しているか。 子供の成長にとって家族や身近な人の役割が重要であることを理解しているか。 「遊びの体験や」「触れ合い体験」での接し方 安全に配慮した調理に関する基本的な技能 期末テスト・レポート・実習など
②	思考 判断 表現	触れ合い体験等での幼児との関わり方に工夫がみられるか。 安全面に配慮した手作りおもちゃについて工夫し表現しようとしているか。
③	主体的に学習に取り組む態度	授業に意欲的に取り組んでいるか。 提出物や忘れ物の状況レポート内容など。

# グローバル・スタディ科 第3学年

## 1 目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことと言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。

### コミュニケーション能力の GOAL

- 相手（話し手、書き手）の伝えたいことを正しく理解したうえで、自分の考えや思いを伝えることができる。
- 日本や日本の文化に誇りを持ち、自分の言葉で発信することができる。

## 2 学習計画と内容

学期	単元名	学習内容	学習を進めるうえでのアドバイス
1 学期	PROGRAM 1 Bentos Are Interesting!	<ul style="list-style-type: none"> <li>・tell us to write ~</li> <li>・It's difficult for me to read ~.</li> <li>・I'm afraid (that) ~.</li> </ul>	○語順に注意して、正しく書いたり、言ったりできるようにしよう。
	Word Web 1 家の中と外	・ある部屋の絵を見ながら、自分がその部屋にいたら何をするのかについて話し合う。	○家にあるものなどの言い方に関する語彙を定着させよう。
	Steps 1 ディベートをしよう	・ディベートの流れと意見の主張の仕方について理解し、ディベートする。	○意見を述べるときは、客観的な事実や具体的な理由をあげて説得力のある主張をしよう。 ○自分と異なる立場の主張にも耳を傾けよう。
	PROGRAM 2 Good Night. Sleep Tight.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・I can't remember where ~.</li> <li>・Can you tell me where ~?</li> <li>・He told me (that) ~.</li> </ul>	○間接疑問の用法を正しく身に付けよう。 ○語順に注意しよう。
	POWER-UP 1 道案内（電車の乗りかえ）	・路線図を見ながら、たずねられた目的地への道案内をする。	○目的地への行き方の尋ね方や電車の乗り換え案内をする時の定型表現を正しく身に付けよう。
	PROGRAM 3 A Hot Sport Today	<ul style="list-style-type: none"> <li>・call me ~</li> <li>・make me ~</li> <li>・make you ~</li> </ul>	○「call A + B」, 「make A + B」の用法を正しく身に付けよう。 ○語順に注意しよう。
	Steps 2 メモの取り方を学ぼう	・5W1H を意識しながらメモをとる。	○必要な情報を聞き取るときのメモの取り方を学ぼう。
Our Project 7 記者会見を開こう	・歴史上の人物や芸能人になりきり、記者会見スピーチを行い、質問したり、応答したりする。	○既習事項を用いて文を考えよう。 ○相手に伝わりやすいよう、文を整理しよう。	
2 学期	Reading 1 Faithful Elephants	・まとまりのある英文を読んで、内容を理解する。	○物語の展開を理解しながら読み進めよう。 ○当時の状況を想像しながら読もう。
	POWER-UP 2 買ったものを交換しよう	・買ったものに不具合があったという想定で、お店に対して交換を要求するやりとりをする。	○購入品が不良品であったことを伝え、それを交換してもらうときに使う英語表現を身に付けよう。
	PROGRAM 4 Sign Languages, Not Just Gestures!	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在分詞の後置修飾</li> <li>・過去分詞の後置修飾</li> </ul>	○現在分詞と過去分詞の使い分けができるようにしよう。また、修飾されている名詞がどれかわかると、意味を理解しやすい。
	POWER-UP 3 ホームページで学校を紹介しよう	・自分の学校の行事や部活についてホームページの記事を作成する。	○積極的に友達と情報交換をしよう。 ○グループで協力して学校紹介文を完成させよう。
	Steps 3 簡単な表現で言いかえよう	・英語での言い方を知らないものを、自分が知っている表現を使って伝え合う。	○自分の言いたいことをどう表現したらよいか分からない時、自分や相手を知っている簡単な単語や適当な表現を使って言いかえる練習をしよう。
	PROGRAM 5 The Story of Chocolate	・関係代名詞（主格）	Owho, which, that を正しく使い分けよう。

	Steps 4 わかりやすい文章を考えよう	・つなぎ言葉などを使った英文を読み、文章の構成を分析して書く。	・聞き手や読み手に取って話の流れがつかみやすい文章を書けるようになる。
	Word Web 2 動詞の使い分け	・複数の意味を持つ動詞について理解をする。	○さまざまな動詞の類義語を整理し、それぞれのニュアンスを理解しよう。
	PROGRAM 6 The Great Pacific Garbage Patch	・関係代名詞（目的格）	○主格の用法との違いを理解しよう。 ○関係代名詞の目的格は省略することが多い。
	Steps 5 ディスカッションをしよう	・テーマについてディスカッションをし、結論を導く。	○ディスカッションを通して、自分の意見や考えをさらに広げたり、深めたりしよう。
	Our Project 8 あなたの町を世界にPRしよう	・地元のものや場所についてPRを行う。	○これまで習ってきたことを活かして、地元の誇れるものをPRしよう。
	Power-Up 4 非常時のアナウンスを聞こう	・非常時のアナウンスを聞いて、重要な情報を聞き取る。	○情報を正確に聞き取ろう。
	PROGRAM 7 Is AI a Friend or an Enemy?	・仮定法過去	○現在の事実と違うことを仮定して表現しよう。
	Reading 2 Malala's Voice for the Future	・まとまりのある英文を読んで、内容を理解する。	○物語の展開を理解しながら読み進めよう。 ○マララさんが何を伝えたかったのかを考えながら読もう。
	Special Project 中学校の思い出を残そう	・中学校の思い出について、発表する。	○これまで習ってきたことを活かして、自分の考えや思いを書こう。
3 学 期	Word Web 3 オリンピック競技・パラリンピック競技	・出場してみたいオリンピック競技・パラリンピック競技について話し合う。	○オリンピック競技・パラリンピック競技に関する語彙を覚えよう。
	Further Reading 1 The Ig Nobel Prize	・まとまりのある英文を読んで、内容を理解する。	○物語の展開を理解しながら読み進めよう。
	Further Reading 2 Library Lion	・まとまりのある英文を読んで、内容を理解する。	○物語の展開を理解しながら読み進めよう。

### 3 観点別の評価方法

	観 点	評 価 の 資 料
①	知識・技能	定期テスト、小テスト
②	思考・判断・表現	定期テスト、パフォーマンステスト、小テスト
③	主体的に学習に取り組む態度	挙手や発言、コミュニケーション活動への取り組み、積極的に英語を使ってコミュニケーションをしよう・続けようとする態度・意欲、パフォーマンステスト、課題の提出等